

日本の電気料金は安いのか？

ヨーロッパよりやや高く、
アメリカの約2倍です。
特に安くはありません。



日本の家庭用電気料金の平均単価は1kWh(キロワットアワー)当たり22.8米セントで、アメリカ(11.5米セント)の約2倍、韓国(7.7米セント)の約3倍です。資源エネルギー庁のデータによれば、2009年の時点でヨーロッパ先進国の中では、ドイツとイタリアが日本より高い料金となっています。イギリス(20.6米セント)やフランス(15.9米セント)などは、日本よりやや安い価格です。



ほそく

これらについて、「原発依存度の高いほうが電代が抑えられる」と説明されることがありますが、韓国の例でもわかるように、電代と原発の依存度が直接関係するわけではありません。逆に、日本の電気料金の水準は1980年ごろからほとんど変わっておらず、その間に原発の数が倍増したことを考えると、原発は決して電気料金を抑える役割を果たしていないことがわかります。

新しい規制基準とその費用は？

新規規制基準を満たすのにかかる費用は、
およそ1兆円超とされています。
この費用も電気料金に上乗せされます。

新しい規制基準は過酷事故対策と地震・津波対策を柱としており、原発の維持・管理費を加えれば約2.7兆円になるとも言われています。しかし5年の猶予があるなど、安全性には。なお疑問があります。「想定外」で起きた福島事故を教訓にするなら、新しい基準が想定しない事態に対応することはやはり不可能です。



ほそく

福島第一原発では、すでに事故処理費用が10兆円を超える可能性があると言われています。しかし地震大国日本では、安全対策や原発の維持費にさらなるコストをかけるより、原発を廃止することのほうが費用が安く、しかも本当の安全と安心が得られるのではないのでしょうか。今、私たちの選択が問われています。



首都圏反原発連合は、
反原発デモなどを主催しているグループや個人が
力を合わせようと、2011年に立ち上がったネットワーク(連絡網)です。
毎週金曜日の首相官邸前抗議行動や街なかでの脱原発デモなど、
原発に反対する方ならどなたでも参加できる活動を
継続しておこなっています。
くわしくは下記ウェブサイトをごらんください。



制作:首都圏反原発連合

イラスト協力:小塚類子

反原連

検索

<http://coalitionagainstnukes.jp/>



120部までは無料で送付する事もできます上記 HP にてご確認ください。

NONUKES MAGAZINE Vol.03

ノーニユクスマガジン

原発がなくなると 電気料金が上がるってホント？



電気料金
編

原発がないと電気料金が上がる？

本当は、電力会社の
経営努力次第で値上げは
十分に回避できます。

原発の再稼働のない東京電力で、
平均8.46%、大飯原発2基を
再稼働した関西電力では

平均9.75%もの値上げとなっています。

電力会社は、火力発電の燃料費がかさむため
値上げが必要だと主張します。ところが、中部電力、
北陸電力、中国電力は値上げを行っていません。
実は値上げは、経営努力で十分に回避できるのです。

ほそく

中部電力が値上げを回避できたのは、火力発電の燃料となる天然ガスの
供給ルートを独自の経営努力によって開拓したからです。
日本の電力会社の多くは欧米の何倍もの値段(原油価格連動契約)で
天然ガスを購入しています。石油も電気会社の子会社が価格競争をしない
まま購入し、電気料金に転嫁されています。



原発再稼働で電気料金は下がる？

原発を動かしても、
電気料金が下がるわけでは
ありません。



みなさんが毎月支払っている電気料金
には、火力燃料の価格変動や外国為替
相場の変動を毎月自動的に電気料金に
反映させる「燃料調整費」という項目が
あります。これは火力での「燃料使用量」
に関係なく「燃料価格」の上下だけで
自動的に反映されるのです。

仮に原発を再稼働したとしても、石油などの価格が上がれば
電気料金も自動的に上がります。

ほそく

つまり、原発を再稼働して火力の発電量を減らしても、燃料価格が高騰すれば
同じように電気料金は上がります。東京電力はこの燃料費調整制度により、
業績への影響が緩和されると自ら述べています。電力会社は制度で守られ、
燃料価格の増加は常に国民に負担のしかかる仕組みになっているのです。



止まった原発の維持費はどれくらい？

日本の電力会社9社あわせて、
昨年度は原発の維持費に1兆2千億円も
かかっています。

この金額は中国電力1社分の売上に相当するもので、
もちろん利用者が支払う電気料金に加算されています。
大飯原発のたった2基しか原発が動いていないにもかかわらず、
これだけの維持費を国民全員で負担して
いるのです。

動かさなくてもこれだけの
お金がかかる原発は一刻も
早くすべて廃炉にすべきです。

ほそく

敦賀原発など3基の原発を持つ日本原子力発電は、昨年は1ワットも発電して
いないにもかかわらず、2012年4月から半年間で757億円もの売上がありました。
これは、電力会社が日本原子力発電の原発から電気を買う長期契約を結んで
支払っているためです。原発を止めると電気料金が上がるのは燃料調達費だけ
のせいではなく、原発の維持費がかさむからです。



総括原価方式ってなんですか？

電力会社が絶対に損をしない料金設定の
ことです。かかったコストをそのまま
消費者に転嫁します。

電力会社は、人件費、燃料費、
修繕費、減価償却費などを
原価とし、これに利益となる
事業報酬を上乗せして電気料金
を決めます。この事業報酬は、
発電用資産に対してあらかじめ割合が決まっています。
つまり、巨額な発電設備をつくれればつくるほど、
利益が増えるということになります。
これが、原発が増えた理由です。

ほそく

この発電用資産には、使用済核燃料までもが含まれます。発電して核燃料を
使えば使うほど儲かる仕組みになっているのです。もし原発をやめれば、
減価償却の終わっていない原発や資産として扱われていた使用済核燃料が
無価値となり帳簿上は不良資産、電力会社は一気に債務超過となる可能性が
あります。お金を貸している銀行はひとたまりもありません。
これが、原発をどうしてもやめられない最大の理由です。

